

2022年2月18日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

文部科学省研究大学強化促進事業シンポジウム URA が活躍するための原動力と機能 ～URA の定着に向けて改めて問う～の開催について

奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構は2022年2月25日(金)に、シンポジウム「URA が活躍するための原動力と機能～URA の定着に向けて改めて問う～」を開催いたします。

リサーチアドミニストレーター(URA)※が大学等の研究機関に導入され約10年が経過した現在、URA やその組織への当初の期待に対するこれまでの活動や成果を検証し、今後のURA の発展や定着に繋げる時期にきています。

本シンポジウムでは、我が国の現在の科学技術政策の方向性や今後のあるべき姿、そのような政策を実行するためのURA への期待などについて、有識者の方々からご講演頂きます。また、パネルディスカッションでは、URA 組織機能の源となる個々のURA の活動に焦点を当て、URA が活躍するために何が重要となるかを、URA として実績のある方々からの経験に基づいた発表を交えながら議論します。

記者の皆さまにおかれましては、是非ともご取材いただきますよう、お願い申し上げます。

【シンポジウムの概要】

- ・名称：文部科学省研究大学強化促進事業シンポジウム URA が活躍するための原動力と機能～URA の定着に向けて改めて問う～
- ・主催：国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構
- ・開催日時：2022年2月25日(金) 13:00～17:00
- ・開催場所：奈良県コンベンションセンター 天平ホール（奈良県奈良市三条大路一丁目 691-1）
- ・プログラム：次頁参照
- ・Web サイト：<https://urasympo-nara.com/>

【本プレスリリースに関する問合せ先】

<内容に関すること>

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

研究・国際部 研究協力課 研究推進係

TEL:0743-72-5191 FAX:0743-72-5194 E-mail:ken-sui@ad.naist.jp

<報道に関すること>

企画・教育部 企画総務課 渉外企画係

TEL:0743-72-5026/5063 E-mail:s-kikaku@ad.naist.jp

【プログラム】

- 13:00-13:05 開会挨拶 塩崎 一裕 奈良先端科学技術大学院大学学長
- 13:05-13:10 来賓挨拶 永田 勝 文部科学省研究振興局学術研究推進課長
- 13:10-13:40 基調講演 林 和弘 文部科学省科学技術・学術政策研究所データ解析政策研究室長
「オープンサイエンスが見通すアカデミアの変容と URA の可能性」
- 13:40-14:10 基調講演 小泉 周 自然科学研究機構研究力強化推進本部特任教授
「URA が生み出す研究の新しい価値：組織や分野、セクターの枠を超える原動力になる(仮)」
- 14:10-14:40 基調講演 高谷 徹 株式会社三菱総合研究所主席研究員
「研究力強化へ向けた URA への期待」
- 14:40-14:55 講演 小林 裕和 奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構研究推進部門長
鹿野 隆人 奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構研究推進部門 URA チーフ
「奈良先端大における URA の活動と成果」
- 14:55-15:15 休憩
- 15:15-16:55 パネルディスカッション
ファシリテーター：三宅 雅人 奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構准教授
パネリスト：十津川 剛 東京都立大学総合研究推進機構上席 URA
宇根山 絵美 岡山大学研究推進機構学術研究推進本部長
主任リサーチ・アドミニストレーター
高野 誠 大阪大学経営企画オフィスシニア・リサーチ・マネージャー
天野 絵里子 京都大学学術研究支援室リサーチ・アドミニストレーター
鹿野 隆人 奈良先端科学技術大学院大学研究推進部門 URA(チーフ)
野島 秀雄 奈良先端科学技術大学院大学特任教授
- 16:55-17:00 閉会挨拶 太田 淳 奈良先端科学技術大学院大学理事・副学長

※URA(リサーチアドミニストレーター)：

URA(University Research Administrator)は、大学全体を見据えた全体最適かつ長期的視点で研究戦略を立案、それらに基づく研究体制・環境の整備、また研究成果を世界に発信する役割を担う新しい職種です。大学では教員や事務職員をつなぐ「第3の職種」の1つと言われ、戦略立案から競争的研究資金の獲得や研究プロジェクトの進捗管理まで、大学の経営陣と研究者を幅広く支援しています。

奈良先端科学技術大学院大学では、2013年度に文部科学省「研究大学強化促進事業」に採択されたことを受け、URAの採用・配置を進めています。

URAが活躍するための 原動力と機能

～URAの定着に向けて改めて問う～

2022年 **2.25** (金) 13:00～17:00
(受付 12:30～)



参加費
無料

[定員]
200名
(最大)

会場 奈良県コンベンションセンター 天平ホール

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンラインでの開催に変更させていただく場合があります。特設サイトでご確認ください。また、参加申込者にはご連絡いたします。

申込方法 特設サイトから→<https://urasympo-nara.com>



リサーチアドミニストレーター(URA)が大学等の研究機関に導入され約10年が経過した現在、URAやその組織への当初の期待に対するこれまでの活動や成果を検証し、今後のURAの発展や定着に繋げる時期にきている。本シンポジウムでは、我が国の現在の科学技術政策の方向性や今後のあるべき姿、そのような政策を実行するためのURAへの期待などについて有識者の方々からご講演頂く。また、パネルディスカッションでは、URA組織機能の源となる個々のURAの活動に焦点を当て、URAが活躍するために何が重要となるのかを、URAとして実績のある方々からの経験に基づいた発表を交えながら議論する。

開会挨拶 (13:00-13:05)

塩崎 一裕
奈良先端科学技術大学院大学学長

来賓挨拶 (13:05-13:10)

永田 勝
文部科学省研究振興局学術研究推進課長

基調講演 (13:10-13:40)

「オープンサイエンスが見通すアカデミアの変容とURAの可能性」

林 和弘
文部科学省科学技術・学術政策研究所データ解析政策研究室長

基調講演 (13:40-14:10)

「URAが生み出す研究の新しい価値：
組織や分野、セクターの枠を超える原動力になる(仮)」

小泉 周
自然科学研究機構研究力強化推進本部特任教授

基調講演 (14:10-14:40)

「研究力強化へ向けたURAへの期待」

高谷 徹
株式会社三菱総合研究所主席研究員

講演 (14:40-14:55)

「奈良先端大におけるURAの活動と成果」

小林 裕和
奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構研究推進部門長

鹿野 隆人
奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構研究推進部門URA(チーフ)

休憩 (14:55-15:15)

パネルディスカッション (15:15-16:55)

■ ファシリテーター

三宅 雅人
奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構准教授

■ パネリスト

十津川 剛
東京都立大学総合研究推進機構上席URA

宇根山 絵美
岡山大学研究推進機構学術研究推進本部長
主任リサーチ・アドミニストレーター

高野 誠
大阪大学経営企画オフィスシニア・リサーチ・マネージャー

天野 絵里子
京都大学学術研究支援室リサーチ・アドミニストレーター

鹿野 隆人
奈良先端科学技術大学院大学研究推進機構
研究推進部門URA(チーフ)

野島 秀雄
奈良先端科学技術大学院大学特任教授

閉会挨拶 (16:55-17:00)

太田 淳
奈良先端科学技術大学院大学理事・副学長

ACCESS

会場

奈良県コンベンションセンター 天平ホール
〒630-8013 奈良県奈良市三条大路一丁目 691-1
<http://www.nara-cc.jp/>



奈良県
コンベンション
センター外観

最寄り駅

鉄道でお越しの方：近鉄「新大宮駅」より徒歩約10分
バスでお越しの方：「奈良市庁前」下車すぐ

